

ひぐち清二郎議会報告

<3月議会を終えて>

3月議会には、市長から4月以降の1年間のお金の使い方（予算）が議会に提出され、議会で約1ヶ月かけて質問などを通じて審査がおこなわれます。今3月議会では、厳しい財政状況であることから、新規事業の中止、予算縮小等がおこなわれた修正予算が議会側から新たに提出され可決（樋口賛成投票）しました。

また、私たち議員が議会などで発言した内容が、どれだけ予算に反映されているのかも重要になります。今後も市民の代表として皆さまの声を議会に届けてまいります。

1年間議会で発言した内容と結果

【3月議会】児童を安全に受け入れできるようにバンビホームの施設整備と支援員充実を要望

➡『結果』6バンビホームの改築および、支援員の処遇改善がおこなわれます

【6月議会】幼児健康診査（1歳7か月、3歳6か月検診）の待ち時間短縮を要望

➡『結果』保健師2名が増員され検診時間の短縮がおこなわれています

幼児健康診査後に配布する資料の充実を要望

➡『結果』子育てニーズにあった資料をより分かりやすく、見やすく冊子として検診後に配布予定です

【9月議会】登下校の安全対策（ツイタモんの位置情報サービス）のモデル校実施を要望

➡『結果』モデル校での実施が決定し、新たに登下校の安全対策の検証がおこなわれます

【12月議会】基幹系地域包括支援センター設置を要望

➡『結果』基幹系地域包括支援センターの設置が決定し、高齢者福祉の充実が期待されます

市民の皆様から相談が多い道路修繕予算の増額を要望

➡『結果』前年度より5千万円の予算が増額され、更なる道路の修繕が期待されます。

今3月定例議会での質問

通学路の安全対策（奈良市通学路交通安全プログラム）と骨髄移植ドナー支援について質問をおこないました

通学路の安全対策について

昨年10月、富雄南小学校の通学路（砂茶屋近くの交差点）において、下校中の児童と車両の事故が起きました。私自身、地域の少年指導協議会の皆様と通学路の巡視や、地域の皆様と朝の通学誘導をおこなわせていただいていますので、この問題を重く受け止め、通学路の安全対策はどのようになっているのか。について、教育委員会（教育総務部長）に対して質問をおこないました。

奈良市では、平成24年、全国で登下校中の児童生徒の死傷する事故が相次いで発生したことから、平成26年11月に「奈良市通学路交通安全プログラム」を策定し、小学校別に教育委員会、学校関係者、道路管理者、警察、自治連合会が参加する合同点検を2年に1回実施し、抽出された危険個所の対策を随時おこなっています。



奈良市通学路
交通安全プログラム

答弁のまとめ及び、要望：

- ①2ヶ年で全ての小学校の通学路を点検するサイクルであり、平成29年度は小学校43校中19校の点検を実施し、危険個所は172ヶ所
- ②翌年度における危険個所の改善率は約53%

要望：「奈良市通学路交通安全プログラム」の運用徹底と、対策・改善状況のお知らせや、対策効果の検証は、定期的にPTA、地域などに共有・公開するように依頼

市が取り組む大規模事業の現状について

火葬場（新斎苑整備事業）

新しい火葬場は、**平成33年4月の運用開始**にむけて工事が進められており、現在は、橋梁工事や不法投棄物の処理が進められています。工事の進捗を確認するため2月に現場視察をおこなってまいりましたが、今後も、スケジュール通り進んでいるのか、確認が必要です。



橋の設置に向けた
河川の切り替え工事



建設現場に捨てられた
不法投棄物

ごみ処理（クリーンセンタ事業）

奈良市のごみ処理場は老朽化が激しく、**現在、3市2町（奈良市、大和郡山市、生駒市、斑鳩町、平群町）で1つのごみ処理場を建設する『ごみの広域化』案について3市2町で勉強会が開かれています。**『ごみの広域化』の場合、施設建設費、施設運営費の負担を低く抑えることができると見込まれています。**3月議会では、市長より『ごみの広域化』を軸に検討したい旨の発言がありました。**



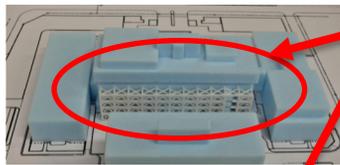
老朽化が激しい
現在のクリーンセンタ



老朽化が激しい
煙道

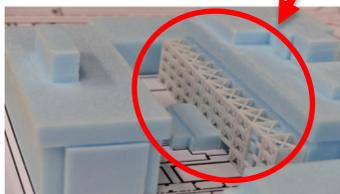
市役所耐震化

大地震の際には、市役所本庁舎が甚大な被害が生じる恐れがあることから、平成30年3月に「奈良市本庁舎耐震化基本構想」が策定され、**平成32年度末までの工事完了を目ざすと方針が示されました。**現在、耐震化の方法や、市役所本庁舎の機能改善などについて引き続き議論がおこなわれています。



外付けフレーム

北側上空から
観た外観イメージ



北西側上空から
見た外観イメージ

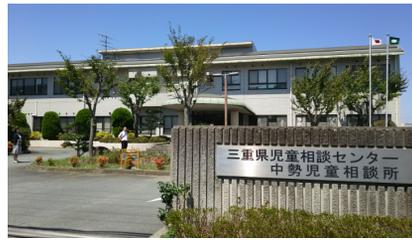
※イメージ図は奈良市本庁舎耐震化基本構想資料より抜粋

児童相談所

全国の児童相談所における児童虐待相談件数は増加の一途をたどっています。

現在、奈良県には2ヶ所の児童相談所がありますが、児童福祉法では、中核市への児童相談所設置が推奨されていることから、奈良市では奈良市児童相談所設置基本計画を策定し、**平成33年度の開設を目指しています。**

昨年、先進事例として中勢児童相談所（三重県）の視察をおこないましたが、万全の人員体制を構築する必要があることから、引き続き議論をおこなう必要があります。



中勢児童相談所（三重県）



一時保護施設

奈良市議会議員 **ひぐち 清二郎**

〒631-0041 奈良市学園大和町5丁目197-206

TEL 0742-51-3155 / FAX 0742-51-3154

Facebook【ひぐち 清二郎】で検索

